

# 国際地震工学センターにおける研修関連データベース

国際地震工学センター 上席研究員 芝崎 文一郎

## I はじめに

国際地震工学センター (IISEE) は、開発途上国の研究者・技術者を対象に国際地震工学研修を実施し、2013年9月までに99カ国から1,609名の研修生を世界に送り出してきた。その研修内容は高く評価されており、講義ノート等の研修情報の膨大な蓄積がある。これらの研修情報は開発途上の地震国にとって大変貴重なものであり、広く公開することは途上地震国の地震被害の防止・軽減へのさらなる貢献を進めることになる。このため国際地震工学センターでは、研修情報に関するデータベースを作成し、ホームページ上での公開を進めてきた。また、国際地震工学センターで解析した地震情報のデータベース等の構築を進め、世界に情報を発信している。

## II IISEE-UNESCO レクチャーノート

国際地震工学研修の内容を広く公開し、途上地震国の地震被害の防止・軽減への貢献をさらに進めるため、ユネスコ及び国際協力機構 (JICA) の協力のもと、2009年3月より「IISEE-UNESCO レクチャーノート」(<http://iisee.kenken.go.jp/lna/>) の公開を開始した。講義ノートの公開はマサチューセッツ工科大学が2001年に開始したオープンコースウェア (OCW) 活動の考え方に基づいている。

現在、地震学、地震工学、津波学、グローバル地震観測、中国耐震建築コースおよび東北地方太平洋沖地震に関する64科目の講義ノートを公開しており (表1)、この分野で、世界で最も充実したレクチャーノートシリーズとなっている。これまでに800名程度の登録者がいる (2014年1月現在)。その内訳 (図1) は、途上地震国からの利用者が約70%以上であり、途上地震国の技術者及び研究者に対して、重要な貢献を果たしていることが理解できる。

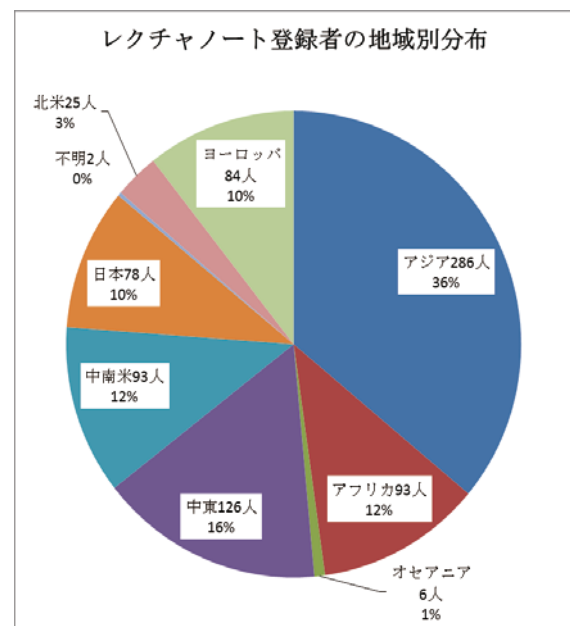


図1. IISEE-UNESCO レクチャーノート登録者数の地域別分布

表1. コース毎の公開している科目数

コース	公開科目数
地震学	22
地震工学	13
津波	11
グローバル地震観測	8
中国耐震建築	5
レギュラーコース合同講義	2
東北地方太平洋沖地震	3
計	64

### III 国際地震工学センターデータベースの概要

表2に国際地震工学センターが公開しているデータベースの概要を示す。国際地震工学研修関係のデータベースと地震情報データベースが公開されている。これらのデータベースは、途上地震国の元研修生や技術者に対して、地震学、地震工学、津波学に関する情報・知識を得る重要なプラットフォームとしての役割を果たしている。

尚、本データベースは下記のページから入ることが可能である。

英語のページ：<http://iisee.kenken.go.jp/>

日本語のページ：<http://iisee.kenken.go.jp/japanese/>

表2. 国際地震工学センターの研修関連、地震情報データベース

建築物の地震防災技術情報ネットワーク (IISEE-NET)		途上地震国のための地震防災関連情報（地震被害履歴、耐震基準、地震観測網）のデータベース
研修関連データベース	IISEE-UNESCO レクチャーノート	研修の内容を広く公開し、途上地震国の地震被害の防止・軽減への貢献をさらに進めるため、ユネスコの協力のもと、研修で使用した講義ノートを公開
	IISEE-E ラーニングシステム	途上地震国の地震被害軽減に役立てることを目的として、講義・修士論文発表のビデオを公開
	シノプシス・データベース (修士論文概要)	2006-2007 年度から 2012-2013 年度までの修士論文のシノプシス (梗概・要約版)
	IISEE Bulletin	IISEE Bulletin に掲載された論文を公開
地震情報データベース	2011 年東北地方太平洋沖地震	東北地方太平洋沖地震関連の特設ページ
	最近の地震報告	余震、マグニチュード、津波シミュレーション、強震観測情報の速報ページ
	宇津カタログー世界の被害地震の表	宇津徳治東京大学名誉教授の「世界の被害地震の表」をウェブ上で公開。2002 年 6 月 27 日以降の被害地震情報については、国際地震工学センターが更新
	地震カタログー世界の大地震の震源メカニズム、余震分布、震源断層面及び震源過程	1994 年以降に世界で発生した Mw7.2 以上の地震の震源メカニズム、余震分布と震源断層面、震源過程と関連情報のデータベース。余震分布と震源断層面については 1976 年～2010 年に発生した M7 以上の地震が登録されている
IAEE ガイドライン		本ガイドラインはノンエンジニアド住宅に関する技術ガイドラインのうち、世界的に最も信頼されているものの一つである、1986 年発行の” Guidelines for Earthquake Resistant Non-engineered Construction “について、石山祐二北大名誉教授他 2 名が改訂を行ったものである
IPRED (International Platform for Reducing Earthquake Disasters)		国際地震工学センターがユネスコと共同で実施しているプロジェクトである、IPRED の情報を提供